

お手入れ方法

- ◆ご使用後は、必ずその日のうちにお手入れする。
- ◆お手入れをするときは、やわらかいスポンジ以外は使用しない。
- ◆においを防ぐため、こまめにお手入れをする。

本体外側・せんユニット

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。
※つけ置き洗いはしない。

本体内側

水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤を柄のついたスポンジブラシなどに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、水分が残らないよう、乾燥させる。※つけ置き洗いはしない。

パッキン

ふたやせんから取りはずし、水またはぬるま湯で薄めた台所用中性洗剤をスポンジに含ませて洗い十分にすすぎ洗した後、すぐに乾いた布で水分をふきとる。その後P7.(パッキンの取りつけ方)を参考にし、確実に取りつける。
(パッキン表面にゴミなどが付着していると、水もれの原因)

お手入れ上の注意

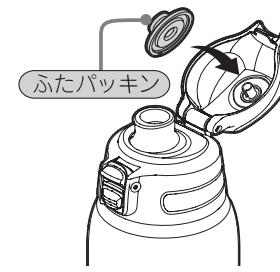
- お手入れ前によくお読みのうえ、必ずお守りください。
- 塩素系漂白剤は使用しない。 サビ・穴あきなど故障の原因。
 - 本体外側は、漂白剤を使用しない。 サビのおそれ。
 - 本体内側に酸素系漂白剤を使用する際は、せんユニットを取りつけない。 本体の内圧が上がり、せんユニットが飛び出すなど危険。
 - シンナー・ベンジン・金属たわし・たわし・みがき粉・クレンザー・化学ぞうきん・台所用以外の洗剤などは使用しない。 傷・サビなど故障の原因。
 - 本体・せんユニットの煮沸および食器洗浄機・食器乾燥機などの使用はしない。 傷・サビ・変形・もれなど故障の原因。
 - 本体は丸洗いができますが、つけ置き洗い(水中に放置)はしない。
 - 本体を丸洗った後は、必ず水分をふき取る。 ふきとらないと、水滴のあとが残ったり、サビや他のものを汚す原因。
 - 長時間ご使用にならないときは、よくお手入れをして汚れを落とし、十分乾燥させて高温多湿を避けて保管する。

パッキンの取りつけ方

お手入れなどで、ふたパッキンやせんパッキンを取りはずした後は、次の内容を読んで正しく取りつける。

ふたパッキンの取りつけ方

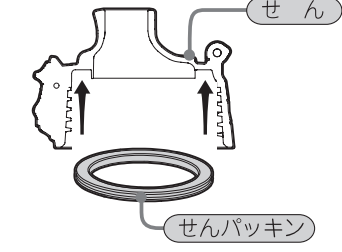
ふたパッキンの凹部をふたの凸部にしっかりと押しこむ。



※正しく取りつけないと、飲みものもれの原因となります。

せんパッキンの取りつけ方

せんにはめこみ、指でまんべんなく押さえ、浮いていないことを確かめる。



赤サビ状の斑点や水アカなどのお手入れ

使用中、水質や不純物などにより本体の内側に「赤サビ状の斑点」が出たり「水アカ」が付着することがあります。このような場合は、以下の手順でお手入れしてください。

- ① 規定量の熱湯にクエン酸を約10g加える。
- ② 約3時間後に柄のついたスポンジブラシなどで内側を洗い、水で十分にすすぐ。
- ③ 十分に乾燥させる。

- ご使用前、ご使用後は十分にお手入れをしてください。においを防ぎ清潔にご使用いただけます。
- 他のものと一緒にお手入れするときは、製品に傷がつかないようにご注意ください。

こんなときは

次の項目について確認をおこなってください。いずれの場合もあてはまらない場合は、お客様相談窓口へご相談ください。

症状	確認するところ	処置
■ふた・せんからもれる	パッキンが正しく、しっかり取り付けられていますか。	パッキンの取り付け位置や方向、浮きがないことを確認してください。
	安全ロックやせんがしっかりとしまっていますか。	しっかりとめなおしてください。
	パッキンが汚れていませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。
	飲みものを入れすぎていませんか。	規定量になるまで飲みものを減らしてください。
■ふた・せんに水滴がついている	飲みものの温度と外気温との温度差でせんユニットが結露することがあります。	
■飲みもの(本体内側・せん)がにおう	飲みものを長時間入れたままにしたり、本体内側、せんユニットやパッキンに茶しぶなどの汚れが付着していませんか。	「お手入れ方法」を参考にし、お手入れをしてください。汚れが落ちにくい場合はクエン酸をご利用ください。
	十分に冷たい飲みものを入れていますか。	十分に冷たい飲みものを規定量になるまで入れてください。
■保冷が効かない	飲みものの量が少なくないですか。	氷をたくさん入れたり、飲みものの量を多くすると効果的です。

※ふたパッキン・せんパッキン・せんユニットは消耗品です。使用後半年から1年を目安にご確認ください。

アフターサービス部品について

本取扱説明書に記載されている製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後5年となっております。その他、製品に関してのお問い合わせにつきましては、お買上げの販売店もしくは弊社のお客様相談窓口にてご相談ください。


消耗部品のご購入について

- 製品型名・容量・色柄・部品の正しい名称をご確認のうえ、下記方法でお求めください。(製品型名は製品底面に貼ってあるラベルに記載されています。)
- ① ホームページ……………トップページのオンラインショップからお求めください。(取扱部品が限られておりますが、ご了承ください。)
 - ② 販売店……………ピーコック製品を取扱っている販売店でお取り寄せください。
 - ③ お客様相談窓口……………お電話もしくはFAXにてお申込みください。


部品名
AJC型 せんユニット (せん、せんパッキン、ふたパッキン)
AJC型 せんパッキン
AJC型 ふたパッキン
AJC型 ポーチ (AJC型用)

※各消耗部品については、各部のなまえの項目をご覧ください。

ホームページアドレス <https://www.the-peacock.co.jp>

お客様相談窓口  **0570-094891**

- 受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00
月曜日~金曜日(祝日・弊社休業日を除く)
- ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ
06-6453-9489
- FAXでのお問い合わせ FAX番号 06-6453-9589
製品型名(品番)・お問い合わせ内容と、お客様のお名前・ご住所・電話番号・FAX番号を記入のうえ、FAXでお問い合わせください。

 **ピーコック魔法瓶工業株式会社**
〒553-0002 大阪市福島区鷺洲5丁目12番20号

Peacock

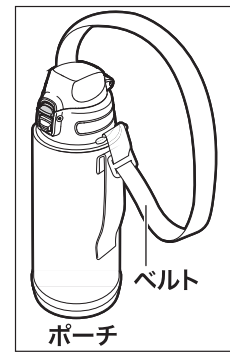
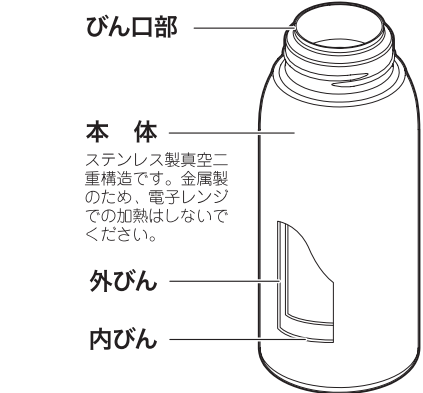
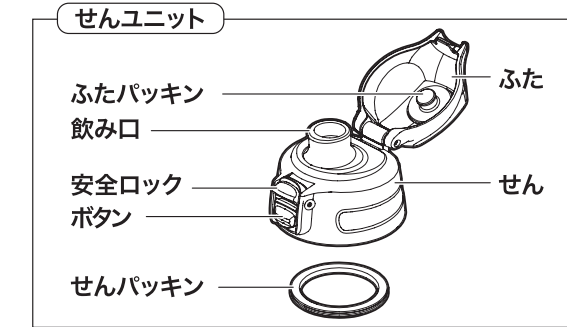
保冷専用

ストレートドリンクタイプ 取扱説明書

AJC型

このたびは、ピーコック製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。また後々のため、この取扱説明書を大切に保管してください。

各部のなまえ



取扱説明書中のイラストは、実際のものとは異なる場合があります。 ④

安全上のご注意

もれやあふれは他のものを汚す原因となります。

飲みものの保冷以外に使用しない

●ドライアイス・炭酸飲料など

本体内の圧力が上がり、せんユニットがあかなかったり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがのおそれ。

●みそ汁やスープなど、塩分を含んだもの

サビ・保冷効果の低下の原因。

●牛乳・乳飲料・果汁など

腐敗・変質・サビの原因。そのまま長く放置した場合、腐敗・変質によりガスが発生して、本体内の圧力が上がり、飲みものがふき出たり、部品が破損してけがなどのおそれ。

●果肉・お茶の葉など もれなど故障の原因。

絶対に
入れない

●乳幼児の手の届くところには置かない。またいたずらに注意する。けがなど危険。

●熱い飲みものは絶対に入れない。やけどのおそれ。

●ストーブやコンロなど火のそばに近づけない。変形・変色の原因。

●飲みものは規定量までにする。入れすぎると、もれ・あふれのおそれ。

●飲みものを入れた場合は、使用後、すぐにお手入れをする。

外出時など十分なお手入れができないときでも、すぐに本体内部をよく水ですすぐ。帰宅後に、十分お手入れをする。カビの発生・サビ・穴あきなど故障の原因。

●飲みものを入れた状態で長く放置しない。腐敗・変質の原因。

●製品の横置きは避ける。もれるおそれ。

●倒したり、落としたりぶついたり、強い衝撃を与えない。

破損・保冷効果の低下・サビ・飲みものがもれる原因。

●本体の底に貼ってある保護シールは、絶対にはがさない。

はがすと、保冷効果が低下するおそれ。

●大きな氷を入れる場合は、押し込まず小さくして入れる。また、アイスピックなど先のとがったもので突かない。傷・もれ・変形など故障の原因。

●せんユニットは確実にしめて使用する。安全ロックも確実にしめ、本体を傾けたりして飲みものがもれないことを確認する。確実にしめないで、もれるおそれ。

●せんパッキン・ふたパッキンは必ずつけた状態で使用する。もれ・衣服を汚す原因。

●せんユニットを持って運ばない。

●バッグなどに入れるときは、本体を縦に置く。

万一のもれを防ぐため、必ず縦に置く。

●パソコン・携帯電話・デジタルカメラ等の精密機械と一緒に持ち運ばない。万一飲みものもれがあった場合、精密機械の破損の原因。

●自動車運転中は使用しない。

車内や衣服を汚す原因。運転者の場合、運転への注意が散漫となり危険。

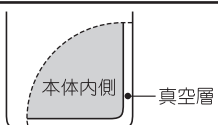
●改造や分解修理はしない。故障や事故の原因。

●冷凍庫に入れない。もれなど故障の原因。

●電子レンジでの加熱はしない。火花が飛び危険。変形や変色の原因。

真空層の内部から水の音がする場合は、使用しない。

保冷効果が低下するおそれ。真空層にたまった水が本体内部にしみ出した場合、飲んで体調不良を起こす原因。



ポーチについて

●ポーチのベルトを持って振りまわさない。

●ベルトを首から下げたまま遊んだり、周囲のものに引っ掛けたり、乱暴な取り扱いには絶対にしない。故障や事故の原因。

●ポーチは過度の摩擦や水濡れなどにより、多少色落ちや色移りする場合がありますので注意する。

●製品が濡れている状態でポーチに入れたまま放置しない。

●ポーチは丸洗いしない。

ご使用方法

ご使用前にせんユニット・内びんを洗ってからご使用ください。

1 せんユニットをはずす

本体からせんユニットを矢印の方向にまわしてはずす。



2 冷たい飲みものを入れる

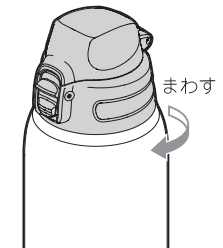


※あらかじめ少量の冷水を入れ、1分程度予冷するとより効果的です。
※飲みものは図の規定量までにする。

飲みものを入れすぎてせんユニットをしめると、飲みものがふき出したり後からもれ出すことがあります。入れすぎた場合は、規定量になるまで飲みものを減らしてから、せんユニットをしめてください。

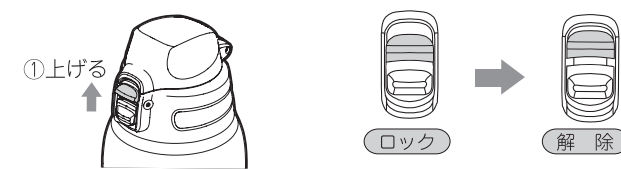
3 せんユニットをしめる

ふたをしめた状態で、せんユニットを矢印の方向にまわして確実にしめる。

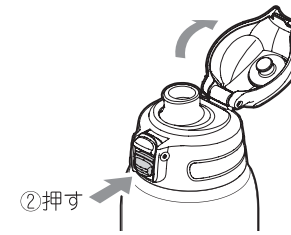


4 ふたをあけて飲みものを飲む

①製品を立てた状態で、安全ロックを上げる。



②ボタンを押してふたをあけ、ゆっくり傾けながら飲みものを飲む。

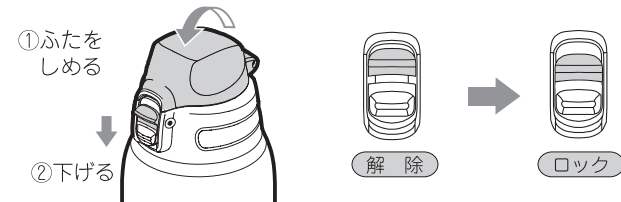


5 飲み終わったら

①飲み終わったら、製品を立てた状態でふたをカチッと音がするまで確実にしめる。

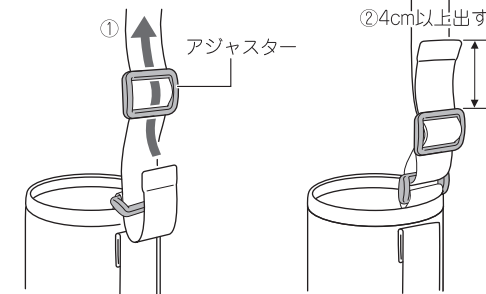
安全ロックがロックになっている時は、ふたがしまりませんのでご注意ください。

②安全ロックを下げて、ロックする。



ポーチ/ベルトの取り付け方

①矢印の方向に、アジャスターに通して取り付ける。
②ベルトはアジャスターから4cm以上出す。



※ベルトの飛び出しが短かったり、正しく通さずを使用するとアジャスターからベルトがはずれて本体が落下する原因。

